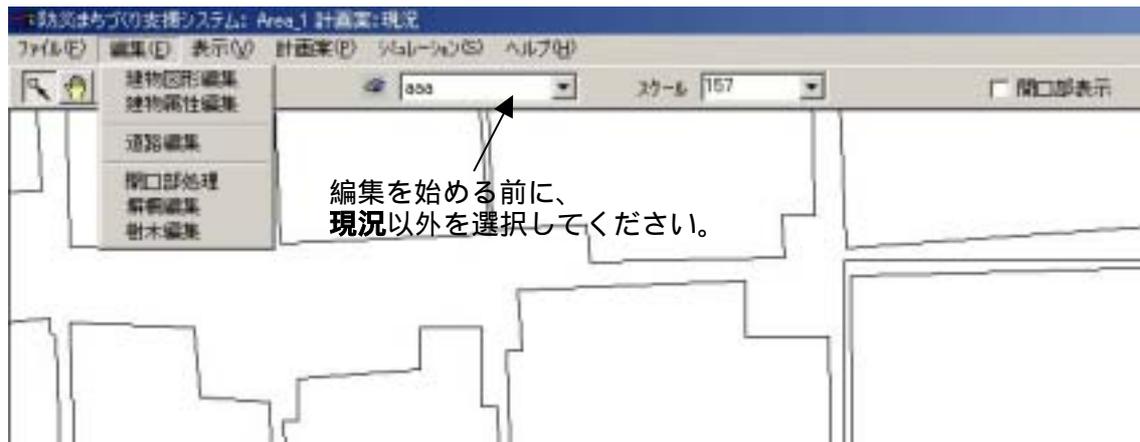


10 編集

メインメニューから<編集>を選択すると、以下の4つメニューが表示されます。

(「現況」に対して編集はできません。「現況」以外を選択してください。)

新しい計画案を作成する場合は、一旦、メインメニューで<計画案>を選択し、新しい計画案の名称を設定しておいてください。



- <建物図形編集>は、建物の形状を編集します。
- <建物属性編集>は、建物の構造、用途、建築年代などを編集します。
- <道路編集>は、道路の形状・幅員を編集します。
- <開口部処理>は、建物の外壁に開口部を生成します。
- <塀柵編集>は、塀や柵の形状と属性を編集します。
- <樹木編集>は、樹木の形状や属性を編集します。

編集では、GISの機能を多用します。

一般的なオフィス系のアプリケーションとは操作体系が異なるため、多少の習熟が必要となりますが、この機能を使いこなせれば、自由に街並の設計ができるようになりますので、マニュアルを参考に挑戦してみてください。

メニューバーの機能を活用して、操作対象を拡大表示することが、街並の編集を容易にするコツです。

(注意)

「一時避難場所、救護所、消防水利」は、現況表示用のデータで、これらの位置を編集したり新たに設定することはできません。

<シミュレーション>、<防災アクティビティ>、<防災アクティビティ評価>で、外周道路、一時避難場所、救護所、消防水利の隣接道路の指定を行うことで、当該施設を間接的に定義します。

1) 建物図形編集

メインメニューから<編集>、<建物図形編集>を選択すると、右のメニューが表示されます。

選択方法の設定

個別選択と、区域選択の2つから、編集する家屋を選択する方法を選びます。区域選択は、移動と削除の場合のみ有効です。

対象家屋の選択

個別選択の場合は、地図上の家屋をクリックで家屋が選択され、四角枠が付きます。

区域選択の場合は、建物属性の区域選択の場合と同様の操作を行ってください。

移動

<移動ボタン>を押します。(押すと確定ボタンに変わります)その後で、矢印ボタンを押してください。選定した家屋が矢印の方向に動きます。目指す場所に移動したら<確定ボタン>を押してください。

右の確認メッセージウインドウが開くので、移動する場合は<OK>、移動をやめる場合は<キャンセル>を押してください。



注) 移動単位

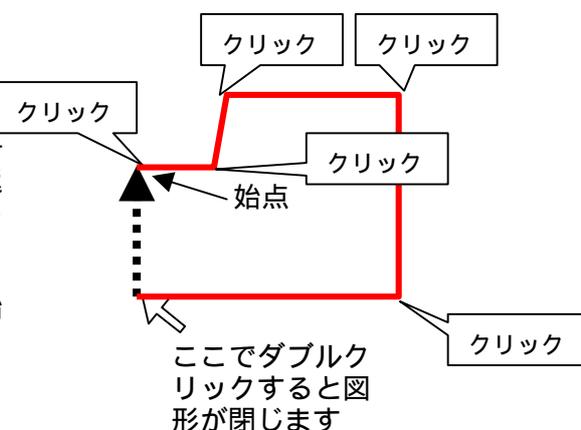
移動単位の「通常」の欄は、一本矢印のボタンを一回クリックした場合の移動距離、「最大」の欄は、二本矢印のボタンを一回クリックした場合の移動距離です。

移動距離を変更したい場合は、テキストボックスの中の数字を書き換えてください。

新規

新規ボタンを押すと、新たな建物の形状を入力できるようになります。

地図上で、マウスの左ボタンをクリックしてからマウスを動かすと赤い線が現れます、左ボタンを再びクリックすると赤線は固定します。これを繰り返して、区域を囲っていきます。始点にマウスポイントを合わせてクリックすると図形が確定します。(始点から離れた位置でダブルクリックすると始点までのラインを付加して図形が確定します。)

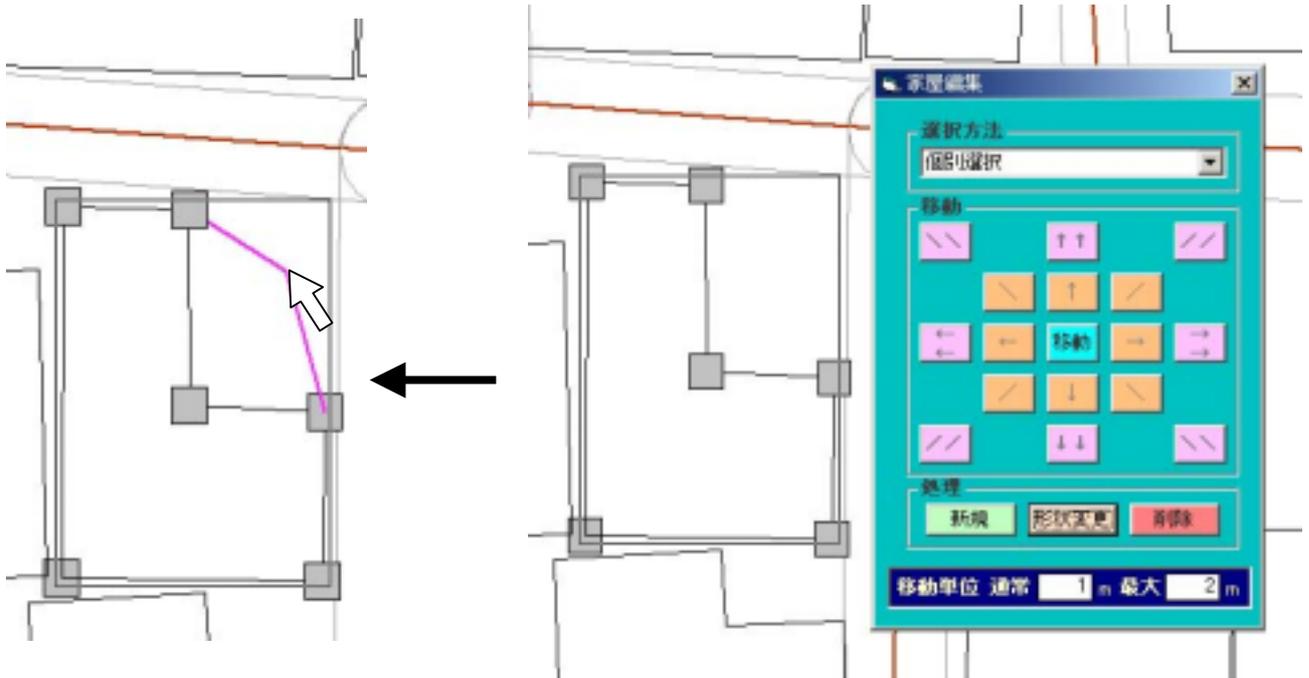


⑤建物形状変更

対象家屋選択の後、**<形状変更>**を選択すると、選択された家屋の角の点が強調表示されます。

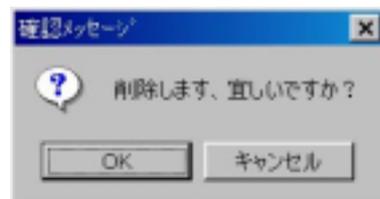
マウスポインタを建物の角に合わせて、クリックした後に、ボタンを離すと赤線が表示されます。マウスを動かすと、選択した角が移動し、建物形状の変化が赤線で表示されます。

希望の位置でダブルクリックすると、建物形状は確定します。



⑥削除

対象家屋選択の後、**<削除>**を選択すると、右の確認メッセージウインドウが開くので、削除する場合は**<OK>**、削除をやめる場合は**<キャンセル>**を押してください。



以上の操作を組み合わせることで、建物の形状を自由に編集することができます。

2) 建物属性編集

<建物属性>を選択すると、右のメニューが開き、建物の構造・階数を変更することができます。

個別選択

地図上の建物をクリックした後に、<個別選択>をクリックすると、対象家屋リストに、選択した建物の番号が表示され、その右に現在の構造・階数・築年が表示されます。

構造欄、階数欄の をクリックして、変更したい構造、階数を選択した後に、<属性変更>をクリックすると、選択した建物の属性が変更され、同時に、築年は最新年を表す「6」に変更されます。

区域選択

このコマンドを使うと、学校周辺の延焼遮断帯エリア等で不燃化を想定した準耐火・耐火建物への建替えの設定を容易にできます。

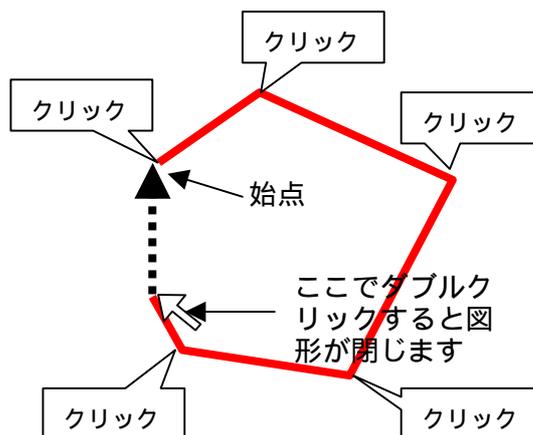
区域選定の対象とする場所を画面上にできるだけ大きく表示してください。

区域選択をクリックして(押し下げて)建物の属性(構造・階数・建築年)を変えたいエリアを地図上で設定します。

地図上で、マウスの左ボタンをクリックしてからマウスを動かすと赤線が現れます、左ボタンを再びクリックすると赤線は固定します。これを繰り返して、区域を囲っていきます。

始点にマウスポインタを合わせてクリックすると図形が確定します。

始点から離れた位置でダブルクリックすると始点までのラインを付加して図形が確定します。



(注意)

区域選択の操作には若干のコツが必要です。マウスの移動が早すぎるとうまく図形を作成できません。赤線を引く際、マウスの移動を止めると一呼吸遅れて赤線が表示されます。線が表示されたらマウスの位置を固定した状態でクリックしてください。

多角形ができたら、もう一度<区域選択>をクリックすると、描いた多角形の内部に含まれる建物の番号が対象家屋リストに表示され、選択された建物図形は構造・階数・築年のいずれかで主題図表示されます。

・一括変更

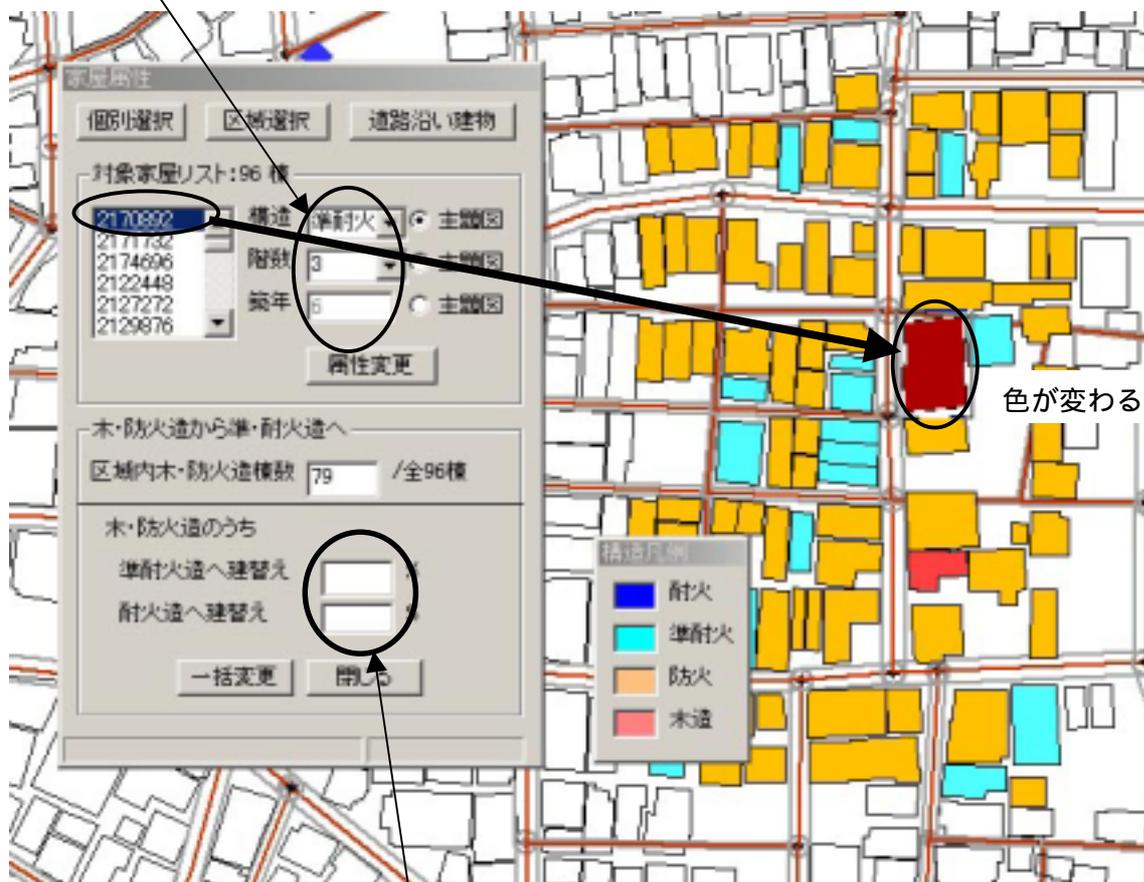
メニューの下の欄で、「準耐火造へ建替え」、「耐火造への建替え」の両方の欄にパーセンテージを表す数字（棟数ベース）を入力してください。（建替えの無い項目には0を入力してください。どちらかを空欄のままにするとエラーになります。）

<一括変更>ボタンを押すと、システムは指定したパーセンテージで、木造・防火造建物をランダムに選択し準耐火造・耐火造に変更します。

・個別変更

メニューの左側にある家屋番号をクリックすると地図上の該当する家屋の色が変わります。（試しに順番にクリックしてみてください。地図上の家屋の色が順に変わるのわかります。）この状態で、構造・階数・築年のデータを変更し、<属性変更>をクリックすると、建物の属性が変更されます。（主題図の欄の をクリックすると表示内容が切り替わるので、これを参考に属性を変更してください）

ここで属性を設定し属性変更ボタンを押すと属性が変更される。



一括変更の場合は、準耐火造への建て替え、耐火造への建て替えの両方に数字を入力する。（該当しない場合は0を入力）

道路沿い建物

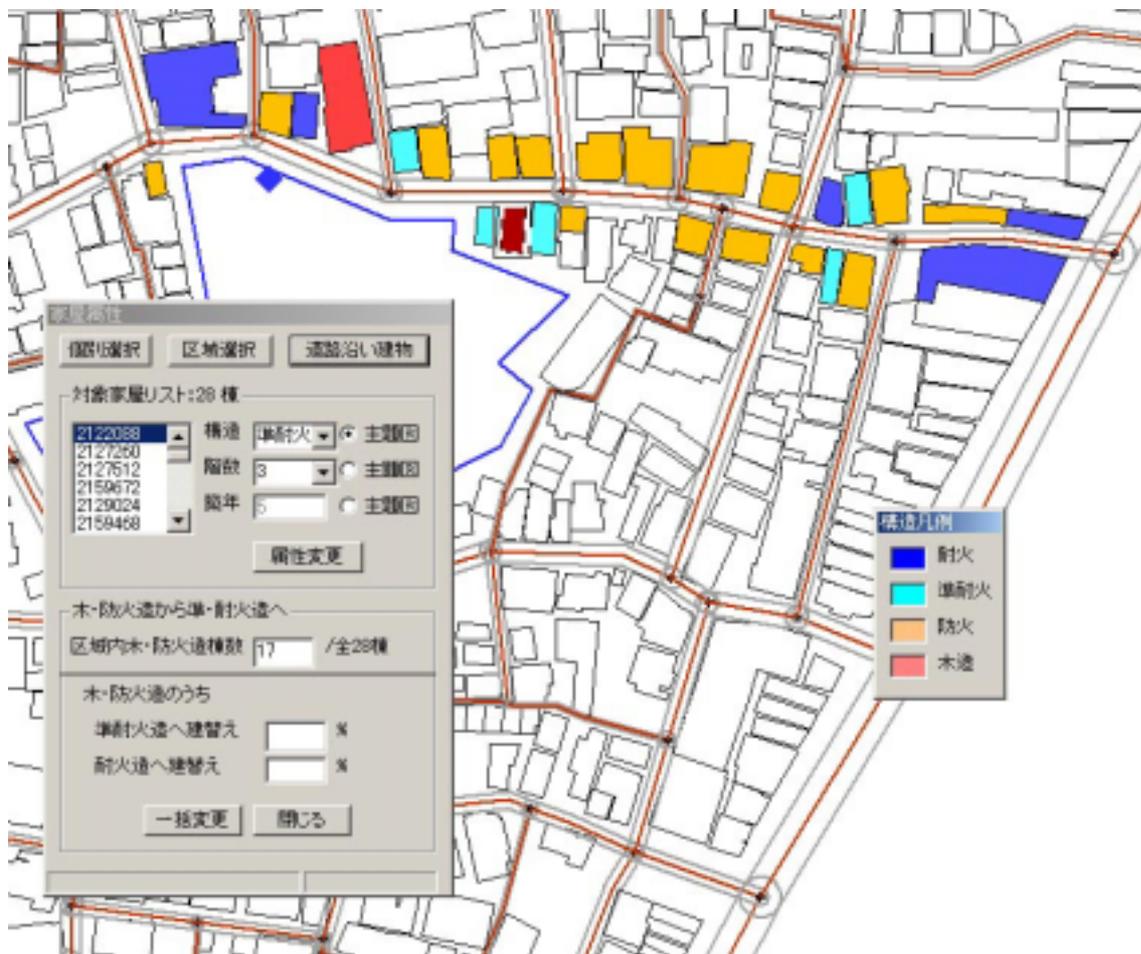
このコマンドを使うと、延焼遮断帯を計画する道路沿道の建物の不燃化を想定した準耐火・耐火建物への建替えの設定を容易にできます。

地図上で、道路中心線をクリックして選択します。

Shift キーを押しながら別の道路中心線をクリックすることで、複数の中心線をまとめて選択できます。

選択が済んだら<道路沿い建物>をクリックします。選択した道路沿道建物の番号が対象家屋リストに表示され、選択された建物図形は構造・階数・築年のいずれかで主題図表示されます。

以降の操作は、区域選択の場合と同じです。



3) 道路編集

メインメニューから<編集><道路編集>を選択すると、以下のメニューが表示されます。

新規道路の追加

メニューの<新規道路>を選択してください。

地図上にマウスポインタを持っていき、クリックすると始点が決まります。マウスを動かすと赤線が表示されますので、順次クリックすると道路の中心線が折れ線で表示されます。ダブルクリックした場所が新たな道路の終点となります。

道路の始点は、別の道路の交差点か、道路中心線の上である必要があります。

他の道路と交差する場合は、必ずその道路の中心線か交差点を終点としてください。この点に注意しないと、他のどの道路にも接続しない孤立した道路が出来てしまいます。

道路図形の入力が済んだら、もう一度新規ボタンを押して、必ず、<新規>を解除してください。

幅員情報の右のテキストボックスに幅員の数値を入力し、<幅員変更>をクリックすると幅員が確定します。

幅員個別変更

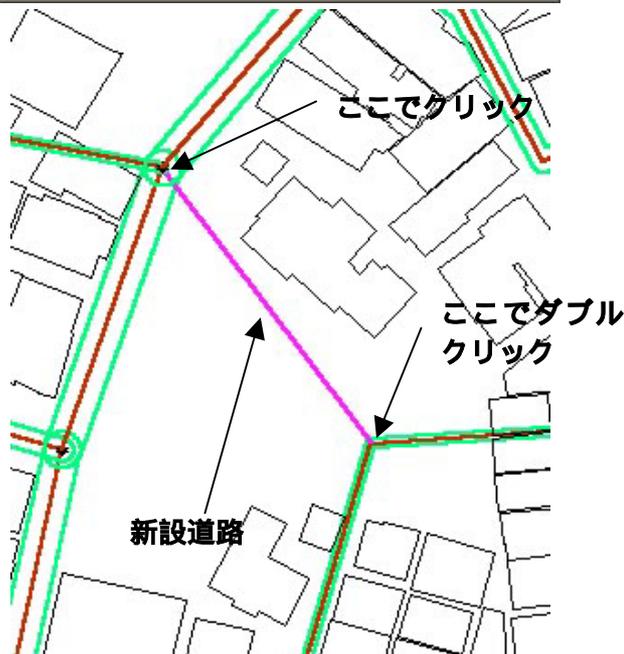
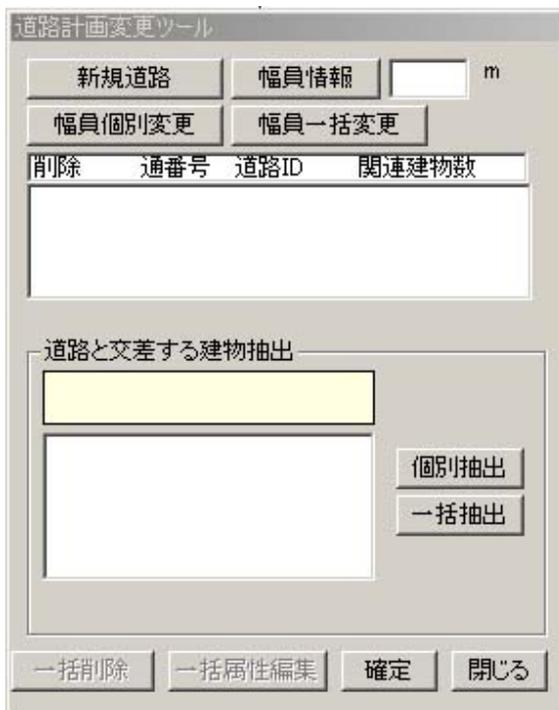
新規ボタンが解除された状態で、道路図形をクリックすると、その道路が選択され四角枠が表示されます。

この状態で、<幅員情報>をクリックすると、右のテキストボックスに、その道路の幅員が表示されます。

幅員欄の数字を計画値に入れ換え、<個別変更>をクリックすると、その道路の幅員が指定した値に設定されます。

幅員一括変更

道路図形をクリックし<幅員個別変更>をクリックすると、当該道路が、メニュー内の一覧表に追加されます。この方法で一連の道路を一覧表に追加し、<幅員情報>の右のテキストボックスに計画幅員(例えば4m)を入力し、<幅員一括変更>をクリックすると、一覧表に登録されたすべての道路幅員が、計画幅員に変わります。



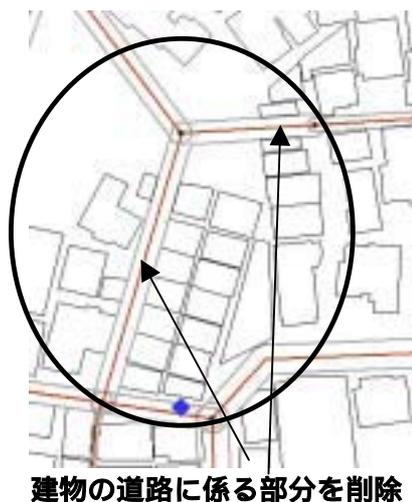
建物との交差処理

道路の新設あるいは、幅員変更した場合には、道路計画変更ツール内にリストが表示されます。

このリスト上の1つの道路をクリックして、**<道路と交差する建物抽出>**の**<一括抽出>**をクリックすると、新設・拡幅によって、道路に係る建物が抽出され、地図上に青色で表示されます。

この状態で、**<一括削除>**を選択すると、建物の道路に係る部分を削除します。

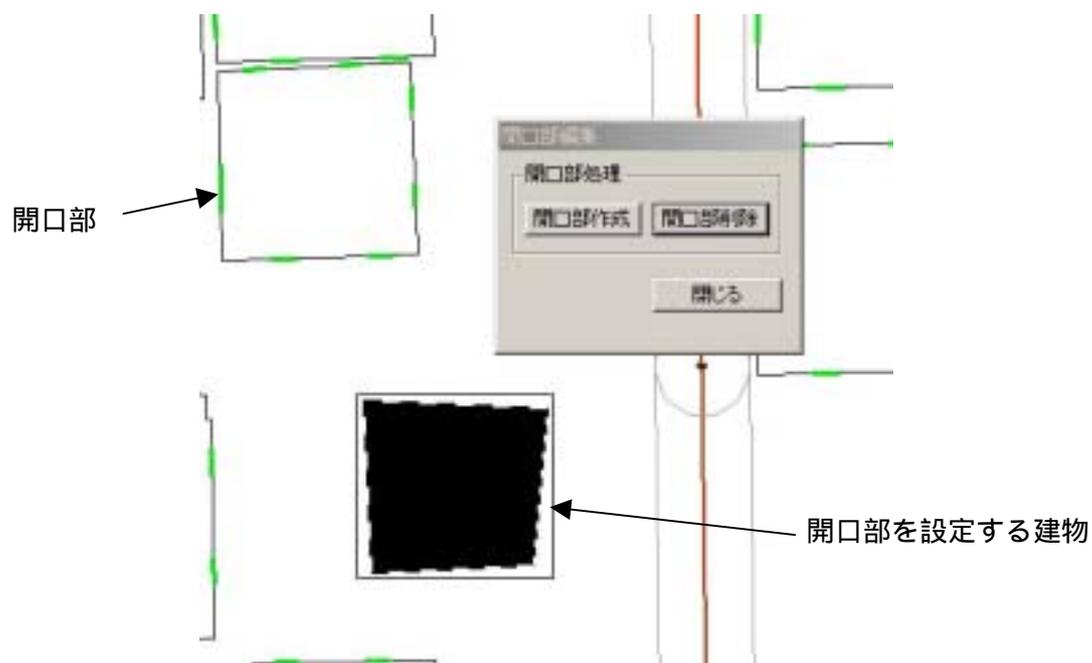
<確定>をクリックすると建物図形が確定します。



4) 開口部処理

画面上の建物或いは区画をクリックしてから、<開口部処理> ボタンをクリックすると、開口部が設定されている建物については、開口部が緑色で表示されます。

新規に作成した建物や、道路拡幅でセットバックした建物など、図形編集を行った建物には開口部がありません。これらに該当する建物をクリックすると下図のように黒で表示されます。この状態で<開口部作成ボタン>をクリックすると、<確認メッセージ>が開き、「開口部を作成しますか」と聞いてくるので、<はいボタン>をクリックしてください。開口部が設定されます。



5) 塀柵編集

延焼シミュレーション（総プロ型）を計算する際、塀柵は、延焼遮断機能を持ちます。

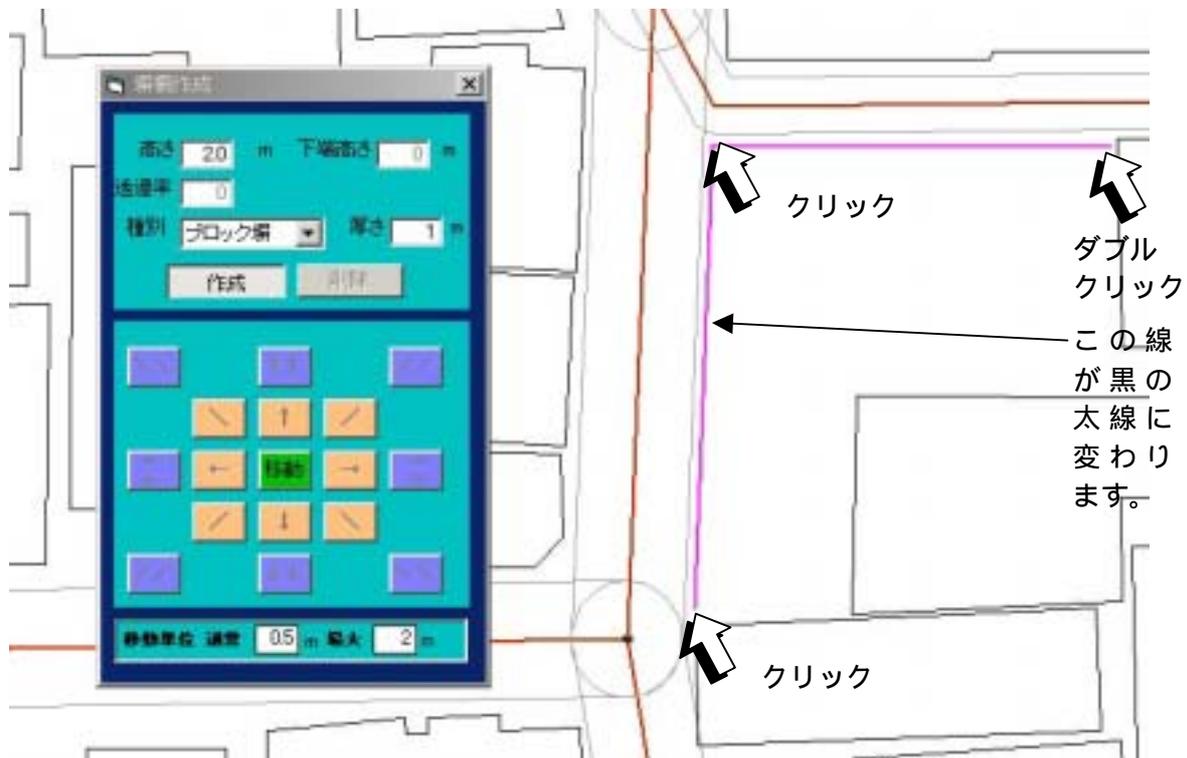
メインメニューから<編集><塀柵編集>を選択すると、以下のメニューが表示されます。

<種別>の右のボックスで をクリックすると、塀柵の種類を選択できます。

高さ（地面から塀柵の上端までの高さ）、厚さを入力した後に、<作成ボタン>をクリックすると、十字カーソルが表示されます。マウスで塀柵の図形の端点をたどるように順次クリックするとピンク色の線が描かれ、最後にダブルクリックすると、先ほど指定した厚さの黒の面図形に変わります。<作成ボタン>をもう一度クリックすると、図形作成モードが終了します。

塀柵の図形をクリックして選択状態にし、<削除ボタン>をクリックすると、選択した図形を削除することができます。

塀柵の図形をクリックして選択状態にし、<移動ボタン>をクリックすると、選択した図形を移動することができるようになります。移動方法は、建物の場合と同じです。



(注意)

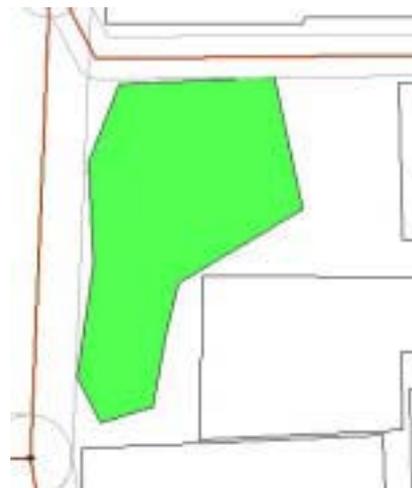
<下端高さ>、<透過率>の欄は、将来の機能拡張用に用意してあります。現在は入力できません。下端高さは0 m、塀・柵の種類ごとに透過率はシステムで設定してあります。

6) 樹木編集

延焼シミュレーション(総プロ型)を計算する際、樹木は、それ自体が燃える直前まで、延焼遮断機能を持ちます。

メインメニューから<編集><樹木編集>を選択すると、以下のメニューが表示されます。高さを入力し、作成ボタンを押してください。

樹木の外周の形状を入力してください。入力方法は塀柵の場合と同様です。最後の点でダブルクリックすると図形は閉じた面図形になります。



(注意)

<下端高さ>、<透過率>の欄は、将来の機能拡張用に用意してあります。現在は入力できません。下端高さは0 m、透過率は0に設定してあります。